

みんなで考えよう
『男女共同参画社会』

男女がともに輝く
社会をめざして



地域編

地域の中で考えよう

あれ？
おかしいな



本当に男性・女性の意見が反映されてる？

地域には自治会やPTAなど、いろいろな活動があります。

自治会などの地域活動の長は男性が適任だと思いませんか？

一方、PTAなど子どもに関わる活動は、女性が圧倒的に多いですね。

男性・女性に関わらず、真剣に活動に参加・参画する人こそ適任だと思うのですが…。

もっと地域に関わりをもちたいものですね。

社会の制度や慣行は、人々が生活していくうえでの規範となるとともに、男女のさまざまな活動の選択に影響を与えています。その制度や慣行がジェンダー意識や性別による役割分業を反映したものであれば、男女の活動や意識に影響を与え、個性や能力を生かした自分らしい生き方を阻害することにつながります。

現在の制度や慣行が、男女の社会における活動の選択にかたよった影響を及ぼすことがないよう、社会全体で取り組んでいかなければならないのはもちろんのこと、個人個人の意識を変えなければなりません。

(久御山町男女共同参画プランより)



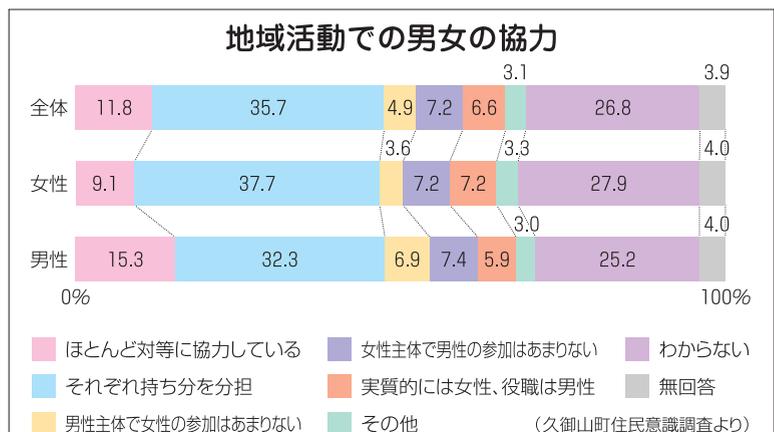
ここがポイント

☆悪しき慣習やしきたりを変えよう☆

長い間、続いてきたことを変えることは大変難しいことです。

「当たり前すぎて何とも思わない」「それでうまくいっているのだから」などという声がある一方で、「おかしいと思うけど波風を立てたくない」という意見もあるんです。

時代に合わせてできるところから変えていきましょう。



「ほとんど対等に協力している」は約1割と低く、「それぞれの持ち分を分担」が最も高い割合である

お茶くみは女性の仕事？

来客があったとき、女性がお茶やコーヒーを出す場面をよく見かけます。

でも、ちょっと待ってください。

あなたのなかにお茶は女性が出すものという意識がありませんか？

このような意識のなかには、お茶くみやコピーなど補助的な仕事は女性の役割、契約や意思決定の場面に登場するのは男性の役割だという役割分担意識が根底にあるのではないのでしょうか。



男女雇用機会均等法の改正により、平成11年から「募集・採用」「配置・昇進」「教育訓練」「定年・退職・解雇」など雇用管理のすべての段階において、女性労働者への差別的取り扱いが禁止されました。しかし、女子学生の就職難、パートタイムやアルバイトなど非正規雇用の急増、男女別雇用管理と賃金格差など、雇用における男女格差は依然として残っています。

男女共同参画による豊かで活力ある社会を実現するために、雇用における男女の均等な確保と待遇の確保を進めるとともに、農業や商工業など自営業における女性の労働環境の整備に努めなければなりません。

(久御山町男女共同参画プランより)



ここがポイント

☆男女が共に能力を生かせる職場をつくろう☆

今までと違った視点で男女の役割を見直してみましょう。

男性も女性もお互いに仕事のパートナーとして認識し、責任を持つことが大切です。

身に覚えがありませんか？

- ◆「恋人はいるの？」「結婚はまだ？」などプライバシーについてしつこくたずねる。
- ◆「女性には任せられない」「うちの女の子」などと言う。
- ◆お茶くみやコピーとりを女性にだけさせる。



職場の中で考えよう

ちょっと変じゃない？その表現！

女にしておくのは惜しい

仕事ができる女性に対し、ほめ言葉のつもりで使うのかもしれませんが、こうした表現の裏には、「女性は男性より劣っている」という意識があるのではないのでしょうか。

男勝りな女!!

女は男より劣った生き物？
男性より勝ってはいけないのでしょうか？

女の腐ったような…

優柔不断な男性をけなす言葉。
裏返せば、女性は優柔不断だということでしょうか？

男は度胸、女は愛きょう

「男は強くないといけない。」
「女は愛想がよくないといけない。」と、
決めつけているみたいですね。

みんなで考えてみませんか？

日常生活で何気なく使っている言葉を集めてみました。

私たちが成長する段階や日々の暮らしのなかで気づかぬうちに浸透してしまった「男とは・・・、女とは・・・」という意識の表れだと思いませんか？

今日から少し意識をして周りを見渡してみませんか。

